

青柳小にオリジナル登校用横断旗が贈呈！



9月3日(月)の始業式にあわせて、集団登校で使用するオリジナルの横断旗が、高島交通安全協会から青柳小学校に贈られました。

今年度の交通安全対策の重点活動地域として高島警察署が、「思いやりゾーン」に青柳地区を指定していることから、登校中の子どもたちを交通事故から守るため、登校用の横断旗をオリジナルのものに新調してくださいました。

デザインは7月に校内で募集し、応募のあった27点の中から6年生の川越美麗さんの作品が選ばれました。旗には「ありがとう」「気をつけて！」の言葉と子どもの似顔絵が描かれており、「止まってくれた車の運転手さんにお礼の気持ちを伝えて、交通安全に気をつけます。」というメッセージが込められています。(交通対策課)

全国消防救助技術大会で入賞！

8月7日(火)、東京都で第41回全国消防救助技術大会が開催されました。この大会は、消防救助技術の演習や訓練を通じて災害に対応する救助技術の向上と体力練成を図ることを目的に毎年行われています。出場できるチームは、県や東近畿大会で上位の成績を収めたチームです。

今回出場した「ほふく救出」という訓練は、煙道内から隊員が要救助者を見つけ救出し、安全な場所まで搬送するという訓練で、安全性や確実さ、速さを競うものです。

全国から強豪が出揃う大会で、入賞することができました。(警防課)



南部消防署 ほふくチーム
山川 駿一 吉田 周平 八田 和彦

たかしま市民まつりで、屋形船40年ぶりに再現

8月25日(土)、萩の浜を会場に、たかしま市民まつりとたかしま夏まつりを合同で開催しました。

祭りは、ステージ発表や音楽コンサート、ダンスや魚つかみ体験など、さまざまなイベントで賑やかにスタートしました。また今年は、大溝まつり屋形船実行委員会の皆様のご協力で、大溝祭の曳山提灯を飾り付けた屋形船を約40年ぶりに再現していただき、湖上を彩る幻想的な様子が多くの方々の目を惹きつけていました。

夜が深まるにつれ、高島音頭やよさこいの総踊りで祭りらしい雰囲気も高まり、最後は色とりどりの花火でフィナーレを飾りました。

「たかしまの心は一つ」をスローガンに、開催6回目を迎えた市民まつりですが、今年は高島地域で開催するにふさわしい、情緒ある祭りとなりました。

ご来場の方々をはじめ、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

(たかしま市民まつり実行委員会、たかしま夏まつり実行委員会)

このようすは youtube でもご覧になれます。(http://www.youtube.com/watch?v=p6M7LAnAIVQ)



閩市民活動支援課
☎(25) 85226

姉妹都市 ペトスキー市へ。交流深める
滋賀県ミシガン州友好親善使節団として高島市民6人が参加
8月23日(木)から31日(金)までの間、滋賀県ミシガン州友好親善使節団の一員として、市内から6人の方がアメリカ合衆国ミシガン州を訪問されました。滞在中は、ペトスキー市(ミシガン州北部・人口約5,700人)の一般家庭でのホームステイを通じ、アメリカの生活・社会・文化を理解するとともに交流を深めました。
現地で開催された交流パーティーでは、両市の親書と記念品が交換され、この模様は翌日のペトスキー市の新聞の一面に大きく紹介されました。



ペトスキー市の新聞の一面に掲載されました

充実の4日間！よえもん道場「妙高キャンプ」



市内の小学4～6年生が集まり、体験活動を行う「よえもん道場」では、8月26日(日)から29日(水)までの3泊4日、新潟県の妙高青少年自然の家で「妙高キャンプ」を行いました。

星空観察や野外炊事、キャンプファイヤー、登山など普段の生活ではできない活動を体験しました。特に藤巻山登山では、仲間と励ましあい、協力しながら全員が登頂することができ、子どもたちの成長した姿が見られる活動となりました。

(高島市青少年育成市民会議)

吹田と高島の子ども、キャンプで自然を満喫！

8月21日(火)から23日(木)までの3日間、今津町にある吹田市立少年自然の家で、第32回吹田市・高島市少年キャンプ大会が行われ、吹田市と高島市から140人の子どもたちが参加しました。

テント泊や、野外炊事、キャンプファイヤー、川遊びなどを通して子どもたちが交流し、夏休みの楽しい思い出となりました。(青少年課)

